

「公共交通機関ITSセミナー」のご案内

～ バス、公共交通機関における最新乗車システムの動向と可能性 ～

第一部

【基調講演】

情報技術の活用とバス交通について

講師：国土交通省自動車交通局企画室 専門官 清水 嘉一 氏

第二部

FeliCaで実現する近未来型バス事業へのアプローチ

講師：ソニー株式会社コアコンポーネント事業グループFeliCaビジネスセンター
営業部 営業1課 マーケティングマネジャー 馬渡 英治 氏

日時 : 平成18年2月22日(水) 13:30～16:00(開場 13:10)
会場 : 万代シルバーホテル(5階 万代の間)
定員 : 50名 (定員となり次第締め切らせて頂きます。)
費用 : 無料
内容 : 裏面セミナープログラムをご参照下さい。
申込方法 : FAXまたはEmailで申し込み願います。

・FAXの場合 ... 下記申し込欄にご記入の上、事務局へFAX願います。

・E-mailの場合 ... its-niigata@bsnnet.co.jpまでメール願います。

お問合せ先・お申込み先 :
公共交通機関支援ITS研究グループ事務局/担当 国府
(株)BSNアイネット ソリューション事業本部内)
Tel : 025-242-2921 Fax : 025-241-3899

主催 : 公共交通機関支援ITS研究グループ
(新潟交通株、(社)新潟県バス協会、(株)BSNアイネット)
後援 : 新潟県IT&ITS推進協議会

セミナー会場

万代シルバーホテル

TEL025-243-3711

新潟市万代1丁目3番30号



公共交通機関支援ITS研究グループ

本グループは、新潟県IT&ITS推進協議会「ITS事業に係る調査・検討活動助成金」を受け、新潟県内の公共交通機関の利便性向上のためのITS先進事例調査事業を行っております。

FAX番号 025-241-3899 公共交通機関支援ITS研究グループ事務局 行き

公共交通機関ITSセミナー 参加申込書

貴社名			
所在地			
電話番号		FAX番号	

参加希望のセミナーに をつけてください

No.	所属名	お役職	お名前	第一部	第二部
1					
2					

ご挨拶

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、私ども「公共交通機関支援ITS研究グループ」では新潟県IT&ITS推進協議会の平成17年度「ITS事業に係る調査・検討活動助成」採択事業といたしまして、「公共交通機関ITSセミナー」を実施させていただくことと致しました。

本セミナーでは国土交通省様、ソニー株式会社様をお招きし、近年、公共交通機関において導入と普及が目覚しく進んでいる「ICカード」にスポットをあて、その先進導入事例をご紹介させていただくとともに、新潟県、特にバス事業における情報技術の活用を中心にご講演していただきます。

「ICカード」機能は携帯電話へも搭載が始まっており、今後は県内公共交通機関を始め、各分野においても次世代機能として導入・普及が進んでいくものと考えられております。

ご多忙とは存じますが、何卒お繰り合わせのうえ本セミナーにご参加いただき、皆様の業務にお役立ていただきますよう、ご案内申し上げます。

～セミナープログラム～

ご挨拶 (13:30 ~ 13:35)

公共交通機関支援ITS研究グループ

第一部

(13:35 ~ 14:35)

【基調講演】

情報技術の活用と バス交通について

講師:

国土交通省自動車交通局企画室
専門官 清水 嘉一 氏

国土交通省自動車交通局では、乗継利便の向上を図り、利用者にとって利便性の高いシームレスな公共交通サービスを提供し、ユニバーサルデザインの実現を図るため、バス・鉄道共通ICカードシステムの導入について支援を行うこととしています。バスロケーションシステムの高度化など最新の情報技術を活用したバスの利便性向上を図る取り組みを含め、バス交通における情報化の推進についてご紹介致します。

休 憩 (15分)

第二部

(14:50 ~ 15:50)

「FeliCa」で実現する 近未来型バス事業へのアプローチ

講師:

ソニー株式会社
コアコンポーネント事業グループ
FeliCaビジネスセンター営業部 営業1課
マーケティングマネジャー 馬渡 英治 氏

「FeliCa」の技術を使い、JR東日本「Suica」をはじめ、北陸鉄道のICカード乗車券「iCa(アイカ)」などといったバスや電車の乗車券への利用が進められています。これは交通系に留まらず、地域生活系における利用の拡大、つまり公共交通利用促進とまちづくりへの活用という大きな変革をもたらす可能性を持っています。

一方、最近注目が集まっている携帯電話と非接触ICの一体化によるモバイルICにも触れ、これからの新しいバス利用の近未来像をご紹介致します。